

都市再生整備計画 事後評価シート  
大津町地区

平成29年3月

神奈川県横須賀市

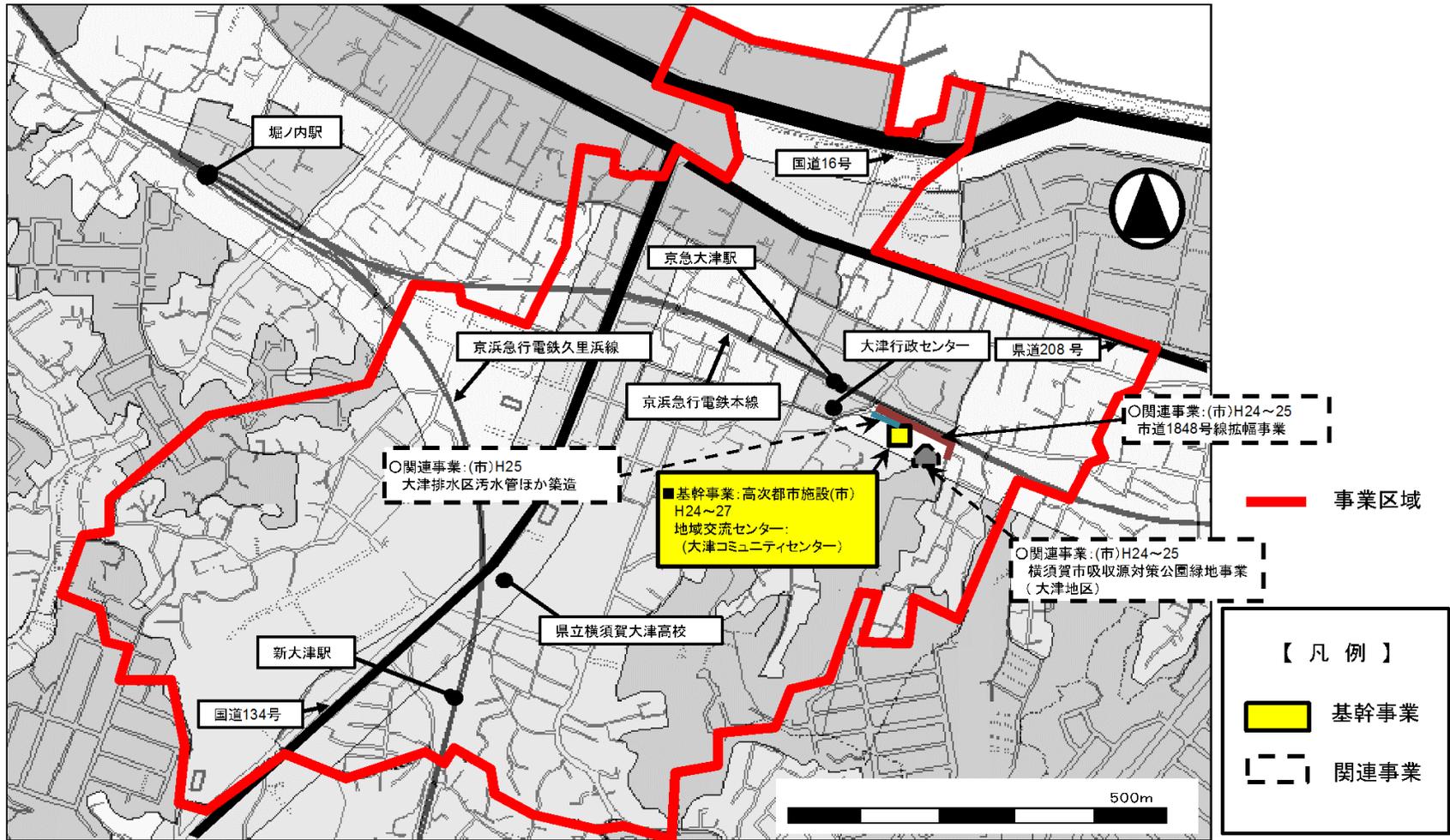
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	神奈川県		市町村名	横須賀市		地区名	大津町地区			面積	87ha		
交付期間	平成24年度～平成27年度		事後評価実施時期	平成28年度		交付対象事業費	1,268.4百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
	基幹事業		【高次都市施設】地域交流センター(大津コミュニティセンター)										
	提案事業		-										
			事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
	当初計画から削除した事業	基幹事業											
		提案事業											
新たに追加した事業	基幹事業												
	提案事業												
交付期間の変更	当初	平成24年度～平成27年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-							
	変更	-											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
				基準年度	目標年度		モニタリング	評価値	達成度	達成見込み			
	指標1	コミュニティセンターの利用者数	人/年	67,000	H23	77,000	H28	-	106,400	○	あり ● なし	コミュニティセンターの新築により、施設の利便性向上、生涯学習の充実等が図られ、利用者数の増加に寄与したものと考えられる。	H29.4予定
	指標2	コミュニティセンターに対する満足度	ポイント	332	H23	382	H28	-	564	○	あり ● なし	コミュニティセンターの新築により、施設が新しく、また広くなるとともに、バリアフリー化が図られ「神奈川県バリアフリー街づくり賞」を受賞した。さらに、生涯学習の充実等が図られ、満足度の向上に寄与したものと考えられる。	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
				基準年度	目標年度		モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み			
	その他の数値指標1												
その他の数値指標2													
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大津コミュニティセンターの整備により、コミュニティ活動の活性化が図られた。</li> <li>・大津コミュニティセンターの前面道路の拡幅により、交通の安全性が確保された。</li> </ul>												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	住民参加プロセス	大津行政センターの建築について市民向けの事業説明会を実施し、市民の意見を事業に反映した。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 特になし				
	持続的なまちづくり体制の構築				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								

## 様式2-2 地区の概要

### 都市再生整備計画の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値			
コミュニティ活動の拠点を整備することにより地域力を強化し、地域の活性化を実現する。 目標1 地域住民の生きがいづくり、地域を支える人材づくりを充実し、交流と絆を深め、地域力を高める。 目標2 地域団体の連携によるまちづくりを促進し、地域の活性化を図る。	コミュニティセンターの利用者数 単位:人/年	67,000	H23	77,000	H28	106,400	H28
	コミュニティセンターに対する満足度 単位:ポイント	332	H23	382	H28	564	H28



まちの課題の変化	・大津コミュニティセンターの整備により、コミュニティ活動の活性化が図られている。
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	・コミュニティセンターを活用して地域活動を推進するとともに、生涯学習の機会を提供し、地域力の強化を図る。

# 都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

## (1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

## (2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

## (3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

## (4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

## (5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

## (6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

## (7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値		●			
D. その他( )		●			

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

事業		当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
事業	細項目	事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
高次都市施設	地域交流センター (大津コミュニティセンター)	1,456.9	地域交流センター 87ha	1,268.4	地域交流センター 87ha	事業費の変更	事業費の変更のみのため、指標等への影響はなし。	●	

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業

事業		当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
事業	細項目	事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考) 関連事業

事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	最終変更計画	当初計画	最終変更計画		
横須賀市吸収源対策公園緑地事業 (大津地区)		大津3丁目緑地	133.0	133.0	平成24～25年度	平成24～25年度	完了	
市道1848号線拡幅事業		市道1848号線	126.7	104.2	平成24～27年度	平成24～25年度	完了	事業規模の変更あり
大津排水区污水管ほか築造		市道1848号線	10.0	28.0	平成25年度	平成25年度	完了	事業規模の変更あり

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)	目標達成度※2	1年以内の達成見込みの有無	
			基準年度	基準年度	基準年度	基準年度	見込み	なし				
指標1	人/年	平成28年4月～平成29年3月までの大津コミュニティセンターの利用者数の合計			67,000	H23	77,000	H28	モニタリング		モニタリング	●
									事後評価	確定 見込み ●	106,400	
指標2	ポイント	平成28年11月に、大津行政センターにより、大津コミュニティセンター利用者を対象に、施設の満足度に関するアンケート調査を行い、計8つの設問のプラス評価(5段階評価のうち上位2段階の回答:思う、やや思う)の割合をポイントとし、合計ポイントを集計			332	H23	382	H28	モニタリング		モニタリング	○
									事後評価	確定 見込み ●	564	

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	目標値を上回っているため、見込み値として○とした。	—
指標2	目標値を上回っているため、確定値として○とした。	—

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○: 評価値が目標値を上回った場合

△: 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×: 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)		本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
			基準年度	基準年度	基準年度	基準年度	見込み	なし		
その他の数値指標1							モニタリング			
							事後評価	確定 見込み		
その他の数値指標2							モニタリング			
							事後評価	確定 見込み		

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・大津コミュニティセンターの整備により、コミュニティ活動の活性化が図られた。</li> <li>・大津コミュニティセンターの前面道路の拡幅により、交通の安全性が確保された。</li> </ul>
--

## (2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

### 添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由 )		

### 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
市民向けの事業説明会の実施	予定どおり実施した	【実施頻度】年に1回程度 【実施時期】平成23～26年度 【実施結果】まちづくり事業に関する情報共有と理解・協力の向上が図られた。	特になし
	予定はなかったが実施した ●		
	予定したが実施できなかった (理由 )		

### 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由 )			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内検討会議	市民部 大津行政センター 担当職員 環境政策部 公園建設課 担当職員	平成28年12月～平成29年2月	市民部 大津行政センター 環境政策部 公園建設課

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1		指標2	
指標名		コミュニティセンターの利用者数		コミュニティセンターに対する満足度	
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	地域交流センター(大津コミュニティセンター)	◎	コミュニティセンターの新築により、施設の利便性向上、生涯学習の充実等が図られ、利用者数の増加に寄与したものと考えられる。	◎	コミュニティセンターの新築により、施設が新しく、また広くなるとともに、バリアフリー化が図られ「神奈川県バリアフリー街づくり賞」を受賞した。さらに、生涯学習の充実等が図られ、満足度の向上に寄与したものと考えられる。
関連事業	横須賀市吸収源対策公園緑地事業(大津地区)	○			
	市道1848号線拡幅事業	○			
	大津排水区污水管ほか築造	○			

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- ：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- －：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	引き続き、利用者増加を目指す。	引き続き、利用者の利便性向上を図り、満足度を向上させる
-------	-----------------	-----------------------------

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1		指標2			
指標名		コミュニティセンターの利用者数		コミュニティセンターに対する満足度			
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類
基幹事業	地域交流センター(大津コミュニティセンター)						
関連事業	横須賀市吸収源対策公園緑地事業(大津地区)						
	市道1848号線拡幅事業						
	大津排水区污水管ほか築造						

※目標未達成への影響度

- ××：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
- ×：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
- △：数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたとと思われる。
- －：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類

- 分類Ⅰ：内的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅱ：外的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅲ：外的な要因で、予見が不可能な要因。
- 分類Ⅳ：内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)				
------------------	--	--	--	--

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内検討会議	市民部 大津行政センター 担当職員 環境政策部 公園建設課 担当職員	平成28年12月～平成29年2月	市民部 大津行政センター 環境政策部 公園建設課

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
地域のニーズに応える機能を備え、人口に応じた施設規模を持つコミュニティセンターを建設する必要がある。	コミュニティセンターの新築により、施設の広さ、生涯学習の充実等が図られ、地域住民の満足度の向上とともに、コミュニティ活動の活性化が図られている。		

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	コミュニティセンターの利用者の増加	コミュニティセンターを活用して地域活動を推進するとともに、生涯学習の機会を提供し、地域力の強化を図る。	・地域活動や生涯学習等の推進
B欄 改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業

フォローアップ又は次期計画等において実施する改善策を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
●	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
●	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
●	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。  
・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標	単位	従前値		目標値		評価値	目標達成度	1年以内の達成見込みの有無	フォローアップ計画					
		年度	年度	年度	年度				予定時期	計測方法	その他特記事項			
指標1	コミュニティセンターの利用者数	人/年	67,000	H23	77,000	H28	確定 見込み ●	106,400	○	あり なし ●	→	平成29年4月	平成28年4月～平成29年3月までの大津コミュニティセンターの利用者数の合計を算出	
指標2	コミュニティセンターに対するの満足度	ポイント	332	H23	382	H28	確定 見込み ●	564	○	あり なし ●	→			
その他の数値指標1							確定 見込み ●				→			
その他の数値指標2							確定 見込み ●				→			

## 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	—	—
	うまく いかなかった点	—	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点	—	—
	うまく いかなかった点	—	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	・計画策定前に地域住民によるワークショップを行い、設計前にも事業説明会を開催したことで、市民の意見を取り入れて施設を整備することができた。このため、利用者の満足度が大幅に高まったものと考えられる。	・市民協働の手法を取り入れ、市民の要望を把握することが満足度向上に有効であると考えられる。
	うまく いかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	—	—
	うまく いかなかった点	—	
その他	うまくいった点	・コミュニティセンターに対する満足度のアンケート調査を実施することで、利用者の具体的な満足している点、不満や要望を把握することができた。	・事業の実施効果の把握については、利用者からの意見をアンケート等により聴取することが有効であると考えられる。
	うまく いかなかった点	—	

### 添付様式6－参考記述 今後、交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

特になし

## (5) 事後評価原案の公表

### 添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市のホームページに掲載	平成29年1月13日～2月3日	平成29年1月13日～2月3日	郵送・FAX・電子メール	市民部 大津行政センター
広報掲載・回覧・個別配布	—	—	—		
説明会・ワークショップ	—	—	—		
その他	—	—	—		

住民の意見	意見なし				
-------	------	--	--	--	--

## (6) 評価委員会の審議

### 添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	精木 紀男(あべき のりお) 関東学院大学 名誉教授 (工学博士、一級建築士、平成24年度大津行政センター・コミュニティセンター建築設計候補者選定方法及び建築設計候補者選定委員会委員長)	第1回:平成28年10月28日 第2回:平成28年12月19日	市民部 大津行政センター	大津コミュニティセンター 建設事業評価委員会条例	-
	その他の委員	第3回:平成29年2月28日			
鈴木 立也(すずき たつや) 天津地域運営協議会 会長 大津地区社会福祉協議会 会長 菊田 善克(きくた よしかつ) 大津地区連合町内会 会長 大津地域運営協議会 副会長					

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	・方法書について委員の了承を得た。
	成果の評価	・成果の評価について委員の了承を得た。
	実施過程の評価	・実施課程の評価について委員の了承を得た。
	効果発現要因の整理	・効果発現要因の整理について委員の了承を得た。
	事後評価原案の公表の妥当性	・事後評価原案の公表の妥当性について委員の了承を得た。 ・インターネットによる市民意見募集では回答がなかったものの、アンケートにより利用者の感想や要望を把握できたことは有意義であったとの意見をいただいた。
	その他	・特になし
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	・事後評価の手続きは妥当であると委員の了承を得た。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	・コミュニティセンター内への軽食施設の設置要望があったが、周辺地域の活性化を阻害してしまうとの意見をいただいた。
	フォローアップ	・フォローアップを実施することを確認した。
	その他	・特になし
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	・今後のまちづくり方策は妥当であると委員の了承を得た。
その他	・特になし	

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。